



第2号  
令和7年5月30日  
庄和すずらん幼稚園

## 保育随想

### ★わくわく生きる！

新年度が始まって2ヶ月が過ぎました。クラスの仲間も変わり、慣れているはずの生活ですが、それぞれに道を見だし新たなことに向かって歩む毎日！と言って良いでしょうね。この時期の成長は、成人の7倍の早さで物事を獲得し吸収して居ると聞いております。

子どもだって大変なんだね～！もしかしたら大人以上に大変なのかも知れないよ！などと我が身に置き換えて考えるものです。それにしても楽しそうですね！ 良く笑いますよね！ 一生懸命ですよね！ あの時代の本能かしら？ と思える程の心情は、どこから生まれるのでしょうか。それで、あの時代の困難と思われる事ごと乗り越えて元気に生きています。大人だって子どもの時代を生きてきたのだから、同じように乗り越えて生きていますよ～！という声が聞こえてくるようですが、時として物事を経験して来ると、心配を見付けて生きる癖が身についてしまうのか、賢くなりすぎてしまうのか、あの子ども達のような心境までは行けないでおります。

理屈ではなく、毎日をわくわく過ごせたら、それで充分ではないだろうか。それには目的を持って努力するのが順当で、良い成績を残す、良い成果を生み出す、勿論、目指す資格に合格する、目指す職業に就く等々、達成したときのわくわく感を思い描き努力する生活は、容易に想像しやすいものです。ですから、わくわくの本領は、少々の厳しい状況にあっても、落ち込まずに、前向きに居られるところにあるのです。

わくわくの語源は、お湯が沸くとか温泉が沸くと言った説が有力とか。水であれ、お湯であれ、石油であれ地中からわき出る不思議さには、まさにわくわく！他にもいろいろな説があって、結果が分からないことにも、わくわくします。

今日の青空は、わくわくでした。涼しい風は一層のわくわく感を味合わせてもらいました。思わぬ事故に遭遇しても、重荷を背負っていても自分の人生と受けとめて、生かされて居る感謝に立ち戻って、けなげに、わくわく出来る自分をつくっていこう。そうすると自分が軽くなるのです。

あの空に浮かぶ小さな白い雲だって、風に押されて流されたり、消えてしまったり、そして又違う形で、ぽっかりと表れて自由に形も変えて青い空に浮かんでいるのです。

苦しいと思える時こそ、楽じゃない人生を楽しむ精神は、命に関わる事は最優先ですが、そんな中でも、楽に生きて行く為には、余計な心配をしないで生きることが大事なようです。人によると、心配事の8割から9割は、実際には起きないと言います。8割から9割の心配は自分自身で作りに上げているとも言います。もし何かが起きてきたら、その時はその時、そして、その時もその時！心配しても心配しきれないことは、いくらでも出てくるものです。これからの歩みに、わくわく生きる自分作りに心がけて見ませんか。